

# 2027年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年7月9日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス・ホールディングス

上場取引所 東 福

コード番号 8203 URL <https://www.mrmaxhd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 能章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画・財務部門管掌 兼 財務部長 (氏名) 上田 展貴

TEL 092-623-1111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日～2026年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	38,221	10.1	1,591	28.5	1,567	21.8	1,036	21.9
2026年2月期第1四半期	34,713	7.8	1,238	46.6	1,286	50.4	850	57.0

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 926百万円 (9.5%) 2026年2月期第1四半期 845百万円 (45.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	31.12	
2026年2月期第1四半期	25.54	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	92,477	38,400	41.5
2026年2月期	86,745	38,374	44.2

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 38,400百万円 2026年2月期 38,374百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期		0.00		27.00	27.00
2027年2月期					
2027年2月期(予想)		0.00		29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	5.7	2,900	3.3	2,900	0.4	1,900	0.3	56.47
通期	157,000	6.3	4,850	9.1	4,700	4.5	3,100	14.2	95.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期1Q	39,611,134 株	2026年2月期	39,611,134 株
期末自己株式数	2027年2月期1Q	6,292,182 株	2026年2月期	6,285,938 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2027年2月期1Q	33,319,118 株	2026年2月期1Q	33,288,392 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は382億21百万円(前年同期比110.1%)、営業利益は15億91百万円(前年同期比128.5%)、経常利益は15億67百万円(前年同期比121.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億36百万円(前年同期比121.9%)と増収増益となり、いずれも過去最高を更新しました。

当社グループは「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、総合ディスカウントストアとして、生活必需品を中心とした商品を毎日低価格で販売するエブリデイ・ロープライス(EDLP)を徹底し、EDLPを支えるエブリデイ・ローコスト(EDLC)に注力してまいりました。さらに、ミスターマックスに関わるすべてのステークホルダーに、「より良い明日」を届けるべく、「暮らしのエンパワメント(あと押し)・カンパニー」として、豊かで便利で楽しい未来の実現を目指しています。

2026年3月には「MrMax Select和白店」(福岡県福岡市)をオープンし、2026年5月末時点の店舗数は60店舗となりました。また、既存店の更なる収益力向上とお客様の利便性を高めるため、2店舗の改装を実施しました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は367億40百万円(前年同期比110.2%)と過去最高を更新しました。中東地域の地政学的リスクの高まりなど先行きが不透明な環境下で強まる消費者の生活防衛意識に対応し、プライベートブランド(PB)商品で「価格凍結宣言」を実施しました。キッチン消耗品や加工食品、紙製品、日用消耗品などの生活必需品を対象に一定期間価格を据え置くことで、お客様の安心感の醸成と来店頻度の向上を図りました。この結果、PB商品の売上高は前年同期比117.5%となり、売上高構成比は前年同期に比べ1.4ポイント増加し23.0%となりました。

加えて、「2027年問題」を背景としたエアコンの買い替え需要への対応として積極的な商品確保を行ったほか、価格改定前の駆け込み需要によりNintendo Switch 2が好調に推移し、売上拡大に寄与しました。これらの結果、既存店売上高前年同期比は107.3%となりました。

荒利益高は84億94百万円(前年同期比114.0%)となり、売上高の伸長に伴い増加しました。加えて、PBの売上高拡大により荒利益率も改善し、前年同期に比べ0.8ポイント上昇し、23.1%となりました。

コスト面では、賃金上昇に伴う人件費の増加、100周年イベント関連による広告宣伝費の増加、売上高増に伴う物流費の増加等により、販売費及び一般管理費は83億83百万円(前年同期比110.6%)となりました。こうしたコスト増加要因はあったものの、荒利益率の改善により、営業利益は前年を上回り、増収増益となりました。

これからも「暮らしを豊かにする企業」として挑戦を続け、ディスカウントストアの枠を超えた新たな価値を創造し、皆様の生活をより豊かで便利にする「暮らしのエンパワメント(あと押し)・カンパニー」を目指してまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ48億46百万円増加し、254億74百万円となりました。これは主として、商品の増加23億57百万円などによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ8億85百万円増加し、670億2百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の増加18億27百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ57億32百万円増加し、924億77百万円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ37億63百万円増加し、323億78百万円となりました。これは主として、買掛金の増加33億86百万円などによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ19億42百万円増加し、216億98百万円となりました。これは主として、長期借入金の増加22億64百万円などによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ57億6百万円増加し、540億76百万円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、384億円となりました。これは主として、利益剰余金の増加1億36百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、2026年4月9日公表の予測数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,110	2,521
売掛金	3,699	5,622
商品	13,337	15,694
貯蔵品	43	39
その他	1,436	1,596
流動資産合計	20,628	25,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,066	15,893
土地	30,317	30,317
その他（純額）	5,431	5,911
有形固定資産合計	49,814	52,122
無形固定資産	1,247	1,172
投資その他の資産		
差入保証金	6,170	4,804
その他	8,912	8,931
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	15,054	13,707
固定資産合計	66,116	67,002
資産合計	86,745	92,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,284	11,671
電子記録債務	6,406	6,718
短期借入金	1,200	400
1年内返済予定の長期借入金	5,661	6,218
1年内償還予定の社債	886	886
未払法人税等	859	649
賞与引当金	856	1,235
その他	4,461	4,598
流動負債合計	28,614	32,378
固定負債		
社債	2,520	2,227
長期借入金	9,812	12,077
退職給付に係る負債	811	817
資産除去債務	1,661	1,679
その他	4,949	4,896
固定負債合計	19,755	21,698
負債合計	48,370	54,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	8,013	8,013
利益剰余金	21,988	22,125
自己株式	△2,548	△2,549
株主資本合計	37,682	37,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	519	412
退職給付に係る調整累計額	172	168
その他の包括利益累計額合計	691	581
純資産合計	38,374	38,400
負債純資産合計	86,745	92,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	33,350	36,740
売上原価	25,897	28,246
売上総利益	7,453	8,494
営業収入		
不動産賃貸収入	1,013	1,119
その他の営業収入	349	362
営業収入合計	1,362	1,481
営業総利益	8,815	9,975
販売費及び一般管理費		
販売費	1,631	1,838
一般管理費	5,945	6,545
販売費及び一般管理費合計	7,577	8,383
営業利益	1,238	1,591
営業外収益		
受取利息	4	3
補助金収入	51	33
その他	36	16
営業外収益合計	93	54
営業外費用		
社債利息	1	8
支払利息	32	58
その他	9	12
営業外費用合計	44	79
経常利益	1,286	1,567
特別損失		
固定資産除却損	42	26
特別損失合計	42	26
税金等調整前四半期純利益	1,244	1,540
法人税、住民税及び事業税	535	629
法人税等調整額	△141	△125
法人税等合計	394	503
四半期純利益	850	1,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	850	1,036

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	850	1,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△106
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△0	—
退職給付に係る調整額	△3	△3
その他の包括利益合計	△4	△110
四半期包括利益	845	926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	845	926
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	720百万円	764百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。